EPSON

EMP SlideMaker2

操作ガイド

マニュアル中の表示の意味

■ 一般情報に関する表示

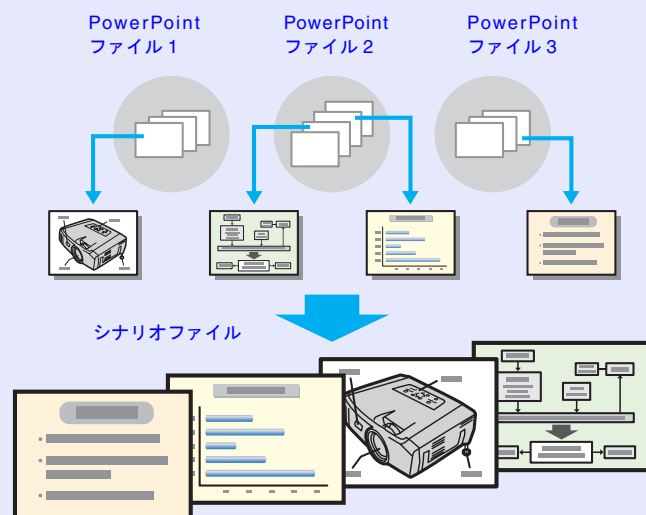
注意	プロジェクターの故障や損傷の原因になるおそれがある内容を示しています。
ポイント	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
☛	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
［（表記名）］	操作パネルまたはリモコンのボタン、プロジェクターの入出力端子を示しています。 例：［ESC］
「（メニュー名）」	画面に表示されているボタンやメニュー名を示しています。 例：「OK」

■「プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに同梱品や別売品も含まれる場合があります。

目次

EMP SlideMaker2について

PowerPoint ファイルや画像・動画ファイルを組み合わせて、投写する順番に並べて 1 つのファイルとして保存したものを、本書では「シナリオ」と呼びます。シナリオはEMP SlideMaker2で作成します。
EMP SlideMaker2 を使うと、元となるファイルを編集せずに、必要な部分を抽出、並び替えて、簡単に、そして効率的にプレゼンテーション資料を準備できます。

作成したシナリオはコンピュータにセットしたメモリカードに転送します。そのメモリカードをプロジェクターのカードスロットにセットして、プロジェクターに搭載のCardPlayerでシナリオを投写します。

本書では、EMP SlideMaker2 でシナリオを作成・転送する方法を説明します。

シナリオに組み込めるファイル

シナリオとして、1 つのファイルに組み合わせることができるファイルは次のとおりです。

種類	ファイルタイプ（拡張子）	備考
PowerPoint	.ppt	Microsoft PowerPoint 2000/2002
画像	.bmp	
	.jpg	バージョンを問いません。ただし、CMYKカラーモード形式、プログレッシブ形式のものは再生できません。
動画	.mpg	MPEG2-PS 再生可能なサイズが最大720×576（EMP-7850）、720×480（ELP-735）までで、DVDと同じ（シーケンスヘッダがGOPごとに配置されている）形式でないと再生できません。 再生できる音声形式は、MPEG1レイヤー2です。リニアPCMとAC-3は再生できません。 使用するメモリカードは、コンパクトフラッシュカードまたはカード型のハードディスクドライブを推奨します。上記以外のメモリカードを使用すると、正しく再生できないことがあります。また、アクセス速度が遅いコンパクトフラッシュカードを使用すると、正しく再生されなかったり、音声が音飛びしたり音が出なくなったりすることがあります。
音声	.wav	PCM、22.05/44.1/48.0kHz、8/16ビット

ポイント

- PowerPointの「スライドショー」メニューで設定した画面切り替えの効果とアニメーションのうち、シナリオにも反映されるものは次のとおりです。
  - スライドイン
  - ブラインド
  - ボックス
  - チェッカーワイプ
  - クロール
  - ディゾルブ
  - ピーク
  - ランダムストライプ
  - スパイラル
  - スプリット
  - ストレッチ
  - ストリップ
  - ターン
  - ワイプ
  - ズーム

  上記以外の画面切り替えの効果とアニメーションは「カット」に置き換えられます。
- 左記の表にある画像・動画ファイルをファイル単独で再生したい場合は、シナリオにする必要はありません。メモリカードにファイルをそのまま保存したあとで、プロジェクターにセットすればCardPlayer機能で直接再生して投写できます。☛ プロジェクター同梱の「活用ガイド」

プロジェクターの同梱ソフトで作成したシナリオについて、EMP SlideMaker2 で開くことができるものとできないものは次表のとおりです。

プロジェクター	ソフト	EMP SlideMaker2で開く
EMP-7850、ELP-735	EMP SlideMaker2	○
ELP-8150/8150NL	EMP Scenario	×
ELP-715/505	EMP SlideMaker	×

シナリオの作成

シナリオを作成する前に、次の点を確認してください。

- PowerPoint、画像・動画などの組み合わせるデータは、あらかじめ作成しておきます。
- 前述の「シナリオに組み込めるファイル」に記載されているファイル以外は使用できません。☛p.3

操作

1 **コンピュータでWindowsを起動し、「スタート」－「プログラム」(または「すべてのプログラム」)－「EPSON Projector」－「EMP SlideMaker2」の順に選択します。**

EMP SlideMaker2 が起動し、シナリオのプロパティが表示されます。

2 **次の表を参照して各項目を入力し、「OK」ボタンをクリックします。**

シナリオ名	作成するシナリオのファイル名と、作業用フォルダ名になります。必ず入力してください。アルファベットの大文字と数字を8文字まで入力できます。次項の作業用フォルダのディレクトリと合わせて127文字以内になるようにしてください。
作業用フォルダ	シナリオ作成時の作業用フォルダをどこに作成するかを指定します。ここで指定したディレクトリにフォルダが作られます。
BGM を設定する	シナリオ再生中にBGMを流したいときにクリックしてチェックマークを付けます。チェックマークを付けると、音声ファイル(WAVE形式)を選択する画面が表示されます。この画面で、BGMとして使用するファイルを選択します。 音声ファイル選択後、右側の「▶」ボタンをクリックすると、選択した音声ファイルが再生されます。「■」ボタンをクリックすると再生を停止します。
背景色	シナリオ中の画像データの背景を選択します。
画質	EMP SlideMaker2はPowerPointファイルの各スライドをJPEGファイルに変換して保存します。この項目では、JPEGファイルに変換するときの画質を選択します。 JPEGファイルは特性上、圧縮率が高いと、圧縮率の低いJPEGファイルに比べて画質が粗くなりますが、ファイルサイズは小さくなり、投写に時間がかかりません。 ここでの設定項目では、「最高画質」、「高画質」、「標準」の順に圧縮率が高くなります。したがって、「最高画質」に設定した場合は、高画質でサイズの大きいJPEGファイルで保存されます。 「標準」に設定した場合は、他に比べて画質が低くなりますが、サイズの小さいJPEGファイルで保存されます。 シナリオに直接JPEG ファイルを組み込んだ場合、その画面に対しては上記の各設定は無効となり、元のファイルの圧縮率が有効となります。

ポイント

一度、設定した内容は、「ファイル」-「プロパティ」で変更できます。

3 シナリオで使うファイルを選択します。

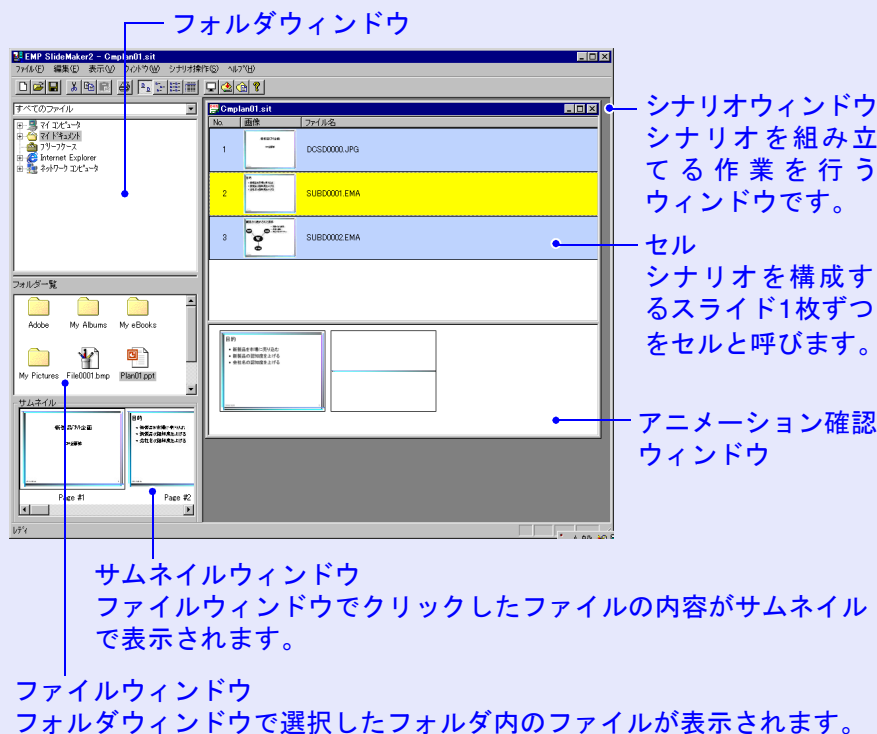
フォルダウィンドウ

シナリオウィンドウ
シナリオを組み立てる作業を行うウィンドウです。

セル
シナリオを構成するスライド1枚ずつをセルと呼びます。

アニメーション確認ウィンドウ

サムネイルウィンドウ
ファイルウィンドウでクリックしたファイルの内容がサムネイルで表示されます。

ファイルウィンドウ
フォルダウィンドウで選択したフォルダ内のファイルが表示されます。

フォルダウィンドウで、目的のフォルダをクリックすると、ファイルウィンドウにフォルダ内のファイルが一覧で表示されます。
画像ファイルの場合は、ファイルウィンドウでファイルアイコンをクリックすると、ファイルの内容がサムネイルウィンドウに表示されます。
動画ファイルの場合は、アイコンがサムネイルウィンドウに表示されます。
ファイルウィンドウで、ファイルアイコンをダブルクリックすると、シナリオウィンドウ内に選択したファイルが表示されます。
PowerPointファイルは、次の2通りの方法でシナリオに取り込みます。

● PowerPointファイル内の全スライドを取り込む

①ファイルウィンドウで目的の PowerPoint ファイルをダブルクリックする。
②メッセージを確認後「OK」ボタンをクリックする。自動的にスライドショーが実行される。
キーボードの[Esc]キーを押すとスライドショーが中止される。その場合、実行済みのスライドはシナリオに取り込まれる。
③スライドショーが終了したらクリックする。
ファイル内の全スライドがシナリオウィンドウに表示される。

上記手順で取り込んだ場合、シナリオに取り込んだあとも PowerPoint で設定したアニメーションが保持されます。したがって、シナリオを CardPlayer で投写する際にアニメーションが有効に働きます。

● サムネイルを確認しながら必要なスライドだけを取り込む

①ファイルウィンドウでファイルアイコンをクリックする。
②シナリオに取り込むサムネイルをダブルクリックする。
目的のスライドがシナリオウィンドウに表示される。

上記手順で取り込んだ場合、PowerPoint で設定したアニメーションはシナリオに取り込んだあとは、すべて無効となります。
アニメーションを保持しているスライドは、シナリオウィンドウのセルに「.EMA」と表示されます。アニメーションを保持していないスライドはセルに「.JPG」と表示されます。「. EMA」と表示されたセルをクリックすると、アニメーションの各動作がアニメーション確認ウィンドウに表示されます。

ポイント

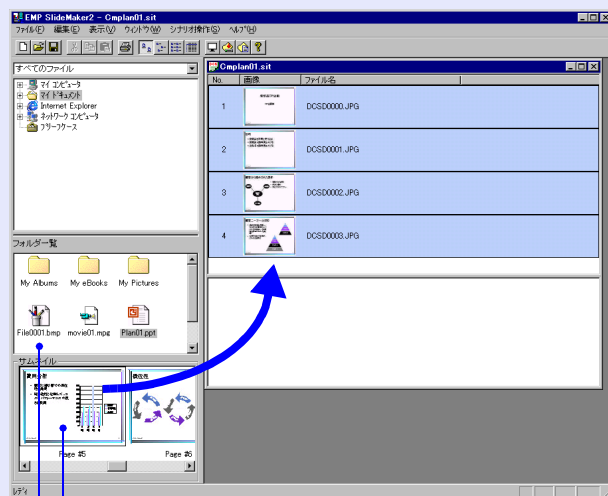
- お使いのコンピュータに PowerPoint がインストールされていない場合は、サムネイルを表示することはできません。
- アニメーションは、EMP SlideMaker2のプロパティ画面でも設定できますが、あらかじめ PowerPoint で設定したアニメーションの方が、シナリオ再生時の動作がなめらかです。PowerPoint のスライドにアニメーションを設定したい場合は、PowerPointで設定することをお薦めします。画像にアニメーションを設定したい場合や、設定したアニメーションを保持せずに、シナリオに取り込んだスライドにアニメーションを設定したい場合は、EMP SlideMaker2のプロパティ画面で設定してください。☛ p.11
- PowerPointで設定できるアニメーションで、以下のアニメーションはシナリオにも反映されます。
  - スライドイン
  - チェッカーワイプ
  - ピーク
  - スプリット
  - ターン
  - ブラインド
  - クロール
  - ランダムストライプ
  - ストレッチ
  - ワイプ
  - ボックス
  - ディゾルブ
  - スパイラル
  - ストリップ
  - ズーム

  上記以外のアニメーションは「カット」に置き換えられます。

4 ファイルやスライドを追加、削除したり順番を入れ替えたりしてシナリオを完成させます。

シナリオウィンドウに表示されている内容は、プロジェクターのCardPlayerで投写したとき、上から順番に投写されます。

- **ファイルやスライドを追加するとき**
  ファイルウィンドウに表示されているファイルや、サムネイルウィンドウに表示されている PowerPoint のスライドを、シナリオウィンドウの追加したい場所にドラッグ＆ドロップします。
- **複数のスライドを追加するとき**
  サムネイルウィンドウで、追加したいスライドを順次クリックしていきます。クリックしたスライドはすべて選択されます。選択したスライドをもう1度クリックすると、選択が解除されます。追加したいスライドをすべて選択したら、選択したスライドの1つをシナリオウィンドウの追加したい場所にドラッグ＆ドロップします。選択したスライドがすべてシナリオに追加されます。
- **複数のファイルを追加するとき**
  ファイルウィンドウで、キーボードの[Ctrl]キーを押したまま、追加したいファイルアイコンを順次クリックしていきます。クリックしたファイルはすべて選択されます。アイコン外の白い領域をクリックすると選択が解除されます。追加したいファイルをすべて選択したら、選択したファイルの1つをシナリオウィンドウの追加したい場所にドラッグ＆ドロップします。選択したファイルがすべてシナリオに追加されます。
- **削除するとき**
  削除したいセルでマウスを右クリックし、表示されたメニュー（ショートカットメニュー）で「切り取り」を選択します。

- 順番を入れ替えるとき
  移動したいセルをシナリオウィンドウ内でドラッグ＆ドロップして入れ替えるか、ショートカットメニューを表示し、「切り取り」を選択後、「貼り付け」を実行して入れ替えます。

目的のファイルやスライドをドラッグ＆ドロップでシナリオウィンドウ内に追加することができます。

ポイント

- EMP SlideMaker2 の各メニューの機能はヘルプを参照してください。
- 作成途中のシナリオを一時保存する場合は「上書き保存」、あるいは「名前を付けて保存」を実行します。ただし、シナリオをメモリカードに保存した場合、そのシナリオは EasyMP の CardPlayer で再生できません。必ず「シナリオ転送」を実行してください。

シナリオの転送

作成したシナリオをプロジェクターで投写するには、EMP SlideMaker2 の「シナリオ転送」でメモリカードにシナリオを転送します。

転送先には、コンピュータのカードドライブにセットしているメモリカードを指定します。

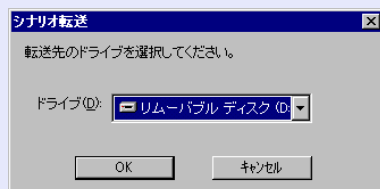
シナリオをプロジェクター起動時に自動的に投写したり、繰り返して投写するように設定することもできます。自動的に投写する機能を「オートラン」といいます。

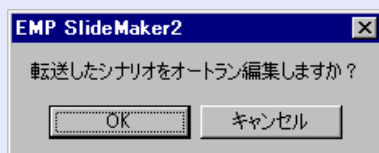
ポイント

- 「シナリオ転送」を実行すると、シナリオファイルが「シナリオ名 .sit」という名前でメモリカード内に保存されます。また、シナリオ名と同名のフォルダが作られ、各画面が画質の設定に応じた画像ファイルに変換され、そこに保存されます。
- 保存を行わずに「シナリオ転送」を実行した場合は、作業用フォルダ内にも「シナリオ名 .sit」というファイルとシナリオ名と同名のフォルダが作られ、そこに各画面が画質の設定に応じた画像ファイルに変換され、保存されます。

操作

1 シナリオが完成したら、メモリカードをコンピュータにセットして「シナリオ操作」−「シナリオ転送」を選択します。

2 転送先のドライブを指定するダイアログボックスが表示されます。メモリカードがセットされているドライブを選択して「OK」ボタンをクリックします。

3 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

4 転送が終了すると、オートランの設定を行うか確認するメッセージが表示されます。オートランや繰り返しの設定をする場合は、「OK」ボタンをクリックして次の手順に進みます。設定をしない場合は、「キャンセル」ボタンをクリックすると終了します。

5 左側のシナリオファイルリストに、メモリカード内のすべてのシナリオファイルが表示されます。

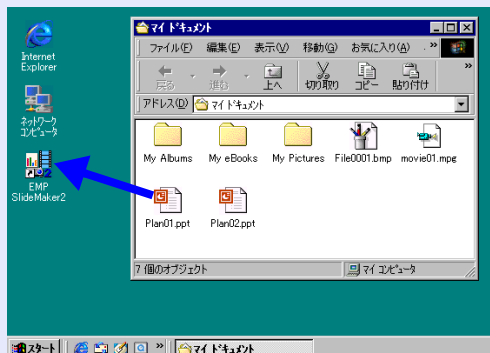
プロジェクターの電源を入れたときに、シナリオを自動投写する場合は、シナリオファイルリストで目的のシナリオ名をクリックして、「>>」ボタンをクリックします。右側のオートランシナリオファイルリストにシナリオが表示され、オートランファイルとして設定されます。
シナリオの投写が終了したら自動的に最初から投写し直す場合は、シナリオファイルリストで目的のシナリオを選択して「繰り返し実行」にチェックマークを付けます。

ポイント

- オートランの設定は、「シナリオ操作」-「オートラン編集」を選択しても実行できます。
- オートランの設定はEasyMPのCardPlayerでは指定できません。
- オートランに設定したファイルが2つ以上ある場合は、オートランシナリオファイルリストの上から順に再生されます。

6 シナリオを転送したメモリカードをプロジェクターにセットして CardPlayer で投写します。☛ プロジェクター同梱の「活用ガイド」

シナリオの簡易作成

PowerPoint の1 つのファイルをそのままシナリオにする場合は、PowerPointファイルのアイコンを、デスクトップ上のEMP SlideMaker2のプログラムアイコン上へドラッグ＆ドロップします。

ポイント

- EMP SlideMaker2起動中はシナリオの簡易作成はできません。EMP SlideMaker2を終了してから実行してください。
- 作成されたシナリオには「Scnxxxx」（xxxxは数字）という名前が付きます。シナリオの画質は「標準」に設定されます。画質は、「ファイル」ー「プロパティ」を選択して表示されるシナリオ設定ダイアログボックスで変更できます。画質についての詳細 ☛ p.3
- PowerPoint のファイルを複数選択してEMP SlideMaker2のプログラムアイコンへドラッグ＆ドロップした場合、マウスカーソルが指しているアイコンのファイルだけがシナリオになります。
- シナリオの簡易作成を実行した場合、PowerPointのファイルにあるすべてのスライドからシナリオを作成します。投写したくないスライドがある場合は、該当のセルを右クリックして「非表示」を選択します。
- PowerPointで設定できるアニメーションで、次のアニメーションはシナリオにも反映されます。

• スライドイン	•ブラインド•	ボックス
• チェッカーワイプ	•クロール•	ディゾルブ
• ピーク	•ランダムストライプ•	スパイラル
• スプリット	•ストレッチ•	ストリップ
• ターン	•ワイプ•	ズーム

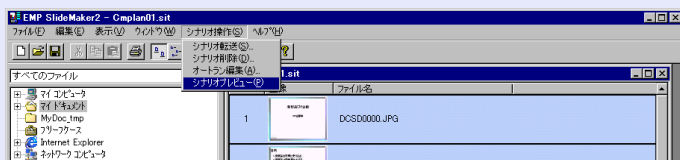
上記以外のアニメーションは「カット」に置き換えられます。

■ コンピュータ上でシナリオの投写状態を確認したいとき

作成したシナリオが、プロジェクターの CardPlayer で再生したときにどのように投写されるかを、コンピュータ上で確認できます。画像、アニメーション効果、BGM などシナリオの構成要素をすべて再生します。

操作

1 **EMP SlideMaker2 で、確認したいシナリオを開いておきます。**

2 **「シナリオ操作」−「シナリオプレビュー」の順で選択します。**

3 **シナリオプレビュー画面が表示されます。次の表を参考にシナリオを操作します。**

停止	再生を中止し、一番前のスライドに戻ります。
一時停止	シナリオ動作が「自動」に設定されているスライドを一時停止します。☛ p.12
再生	シナリオプレビューを開始します。また、停止または一時停止しているシナリオを再開します。シナリオ動作が「手動」に設定されている場合は、次のスライドを表示します。☛ p.12
巻き戻し	現在表示しているスライドの1つ前のスライドまたはアニメーション実行前の画面に戻ります。戻る際はアニメーション効果は実行されません。
早送り	現在表示しているスライドの1つ先のスライドまたはアニメーション実行後の画面に進みます。このときアニメーション効果は実行されません。
ボリューム	Volume Controlを起動します。BGMの音の大きさを調整できます。
進行状況バー	シナリオの進行状況をバーで表示します。開始時はバーの表示はなく、進行するにしたがって左から右にバーが伸びていきます。一番右までバーが達すると終了です。

4 **確認し終わったら、画面右上の「☒」ボタンをクリックしてシナリオプレビュー画面を閉じます。**

アニメーションの設定

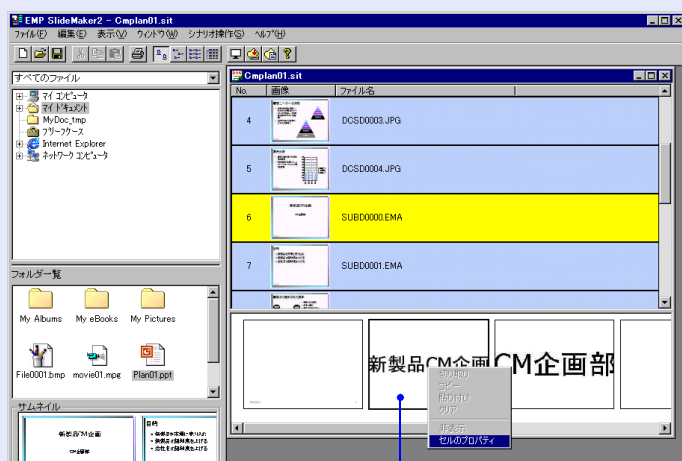
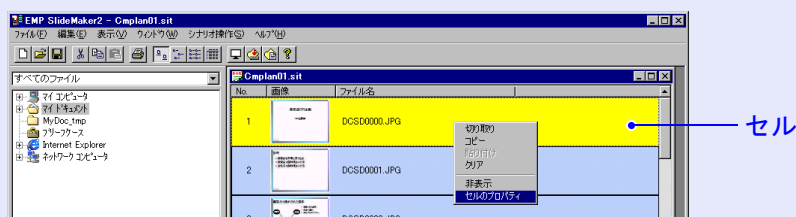
EMP SlideMaker2 では、PowerPoint のアニメーション効果と同様の効果をシナリオ内の各セルに設定できます。PowerPoint で設定したアニメーションを保持しているスライドは、分割されたコマごとに投写時間やアニメーションを設定して投写することができます。この場合は、アニメーション確認ウィンドウで目的のアニメーションを右クリックして「セルのプロパティ」をクリックします。

ポイント

あらかじめ PowerPoint でアニメーションを設定したファイルをシナリオに取り込んだ方が、シナリオ再生時のアニメーションの動作がなめらかです。PowerPoint のスライドにアニメーションを設定したい場合は、PowerPoint で設定することをお薦めします。画像ファイルにアニメーションを設定したい場合や、設定したアニメーションを保持せずに、シナリオに取り込んだスライドにアニメーションを設定したい場合は、ここで説明している方法で設定します。

操作

1 目的のセル、またはアニメーションで右クリックし、「セルのプロパティ」を選択します。

複数のセル、またはアニメーションに同じ設定をする場合は、キーボードの[Shift]キー、または[Ctrl]キーを押したままクリックして複数のセルを選択してから、右クリックして「セルのプロパティ」を選択します。

2 プロパティ画面が表示されます。次の表を参照して項目を設定し、「OK」ボタンをクリックします。

シナリオ動作	「自動」を選択した場合は、切り替える時間を0秒から1800秒の間で設定できます。「手動」にした場合は、投写時にリモコンの[⇩]または[⇧]ボタンを押して切り替えます。
アニメーション効果	投写中に画面を切り替えるときの効果を指定できます。 選択したアニメーションによっては、「方向」を選択します。 効果の一例を次に示します。 スライドイン:指定した方向から画面を切り替えます。 ボックスワイプイン:内側から画面を切り替えます。

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルを現地にてお買い求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

商標について

IBM、DOS/Vは、International Business Machines Corp.の商標または登録商標です。
Macintosh、Mac、iMacは、Apple Computer Inc.の登録商標です。
Windows、WindowsNTは米国マイクロソフト社の商標です。
ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。
EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.
The freely available TIFF library written by Sam Leffler, Copyright © 1988-1997 Sam Leffler and Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc., is used for loading, drawing and writing the TIFF file.
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
本製品は、オープンソースソフトウェアを利用しております。